

24年度予算に対する会派の意見

やまぶき会



- 江田 肇
- 新井 喜一
- 久保 啓一
- 三上 喜久蔵
- 小野澤 康弘
- 若海 保
- 倉嶋 美恵子
- 中原 秀文
- 荻窪 利充
- 吉野 郁恵
- 高梨 淑子

「やまぶき会」は昨年の統一自治体選挙後に11名の議員で構成する最大会派になりました。市議会の最多当選議員から1期生も4名所属する中広い人材が切磋琢磨する会派です。積極的に発言を

してまいります。

東日本大震災の影響もあり現下の社会経済状況は厳しいものです。国県が前年度より減額予算案である中、川越市は前年度より1%増額の予算を組みました。諸課題に積極的に取り組む市長の姿勢を高く評価します。

・更なる健全財政を
川越市の財政構造は経常収支比率でみると埼玉県内平均値87・8%より硬直していると考えられる92・2%です。

この中で、財源を確保するために都市計画税はこの2年間で約14億円の増収です。この財源は目的税ですから、新河岸駅周辺地区や川越所沢線等の街路事業、なぐわし公園整備事業などに使われます。負担増の訴えにこたえた、市民の協力の賜物と感謝すべきです。

更に、国の経済見通し等に基づく歳入見込みも電力事情や天候に加え国際的な財政への信頼性欠如が経済にリスクを及ぼ

す可能性が顕在化しました。財政の更なる健全化を期待します。

・主な事業評価

平成24年度は市制90周年の年です。事業は市民と協力・協働事業として推進することで地域コミュニティの活性化や交流創出に役立ちます。こども議会の実施は子どもたちの議会運営や発想を楽しみにしています。

また、長年の懸案であった川越駅西口駅前広場の改修や新斎場建設は市民要望の強い事業であり確実な推進を求めます。シャトルバスや、一番街通りの交通事情等は観光客の回遊性と市民の足を確保する事業であり急ぎ検討を求めます。

医療・福祉の分野では、休日急患・夜間診療継続、がん検診の充実や、子ども医療費の小学校6年生までの無料化を評価し、健康増進を期待します。

子育て支援は待機児童解消に民間保育所建設に尽力したこと。学童保育

事業は公設公営で責任者の配置を実施し、子供の成長にプラス効果が発揮されることを期待します。

高齢者には3ヶ所増設の地域包括支援センターによるきめ細やかな地域包括ケア推進を求めます。農業は国の日本再生のための重要事業であり、伝統野菜の復活に加え、川越の農業育成は強力に推進されるべきです。

昨年3月24日は東日本大震災に関して川越市の避難所に被災者を受け入れた日です。新年度に私たちは市民の理解を得られる範囲で川越市が東日本大震災のがれき処理受け入れに賛成します。国や県の処理方法を共有し復興支援に可能な協力を求めます。

市民生活の安全安心を最優先に、男女や年齢を問わず幅広い市民の力を結集しこの困難な時代を乗り越えたいものです。やまぶき会は川合市政を支えつつ更なる発展のために尽力します。

公明党議員団



- 清水 京子
- 小ノ澤 哲也
- 近藤 芳宏
- 大泉 一夫
- 若狭 みどり
- 桐野 忠
- 中村 文明

1万9千名を超える死者・行方不明者を出した「東日本大震災」から1年が経過しました。我が国の最大局面に際し、復旧・復興を加速し、日本の再生に全力を注いでいかなければなりません。さらに世界経済の低迷から、日本経済も依然厳しい中で、新年度の川越市は、地方分権一括法制定により、230の権限の委譲を受け、それに伴う

財源調整も必要でありましたします。

●75歳以上の方の肺炎球菌ワクチンの接種費用の補助金の支給・人間ドックの実施等、川越市独自の高齢者支援策を充実させた点は、さらに応援をしてみたいです。

●新斎場の建設・西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）の建設と連動した川越駅西口駅前広場の改修・（仮称）大東市民センター建設・新河岸駅周辺整備については、本市の財政状況を考慮しながら、市民の皆様の利便性を高める推進を図っていただきますと思います。

●厳しい雇用情勢に対応する（仮称）就労支援センターの設置につきましては、積極的な推進を望みます。

●以前より公明党議員団が、要望をしてきた「子ども医療費の無料化を小学校6年生まで拡大してゆきたい」との川合市長の前向きな姿勢を歓迎い

学校の耐震調査する議員団



反対討論（要旨）

この間国では、構造改革によって税や医療費など国民の負担が増す中で、今年も子ども手当が削減、住民税の年少扶養控除廃止、年金保険料の引上げと給付額引下げがされる。さらに、消費税増税も強行されようという中で、本市政においては市民への負担増をくいとめ市民生活を守る視点が求められている。しかし、本予算案は、学童保育料の値上げや都市計画税の引き上げなど、市民負担増が含まれている。

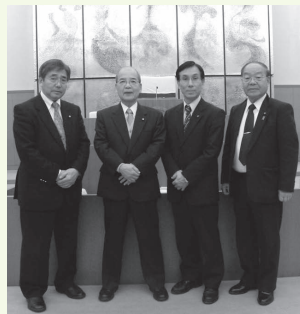
また、給食センター建設替えについては、PFI手法導入の検討経費を計上しており、民間利益の追求の中で子どもたちに悪影響を及ぼす危険性ははらんでいる。

大規模事業などの土木費は、大きく伸びているが、景気対策として市内中小零細企業の仕事確保策など地域経済をあたためる施策を積極的に展開すべきである。

子ども医療費の拡充や就労支援センター設置などについては率直に評価する。

自民クラブ

- 吉 敷 賢
加 藤 昇
関 口 勇
三 浦 邦 彦



厳しい財政状況の中、川合市長は限られた財源を集中と選択により、公約に掲げた「五つのかわごえづくり」をはじめとした都市基盤整備や少子高齢化への対応など、多様な市民要望に応える予算を編成したことについては、高く評価します。

新斎場の整備については、都市計画決定するための準備を進め、新斎場建設に係る基本設計や周辺環境影響調査の着手。南古谷駅北口開設については、駅前広場及び周辺整備の根拠となる交通量調査の実施。ふれあい拠点施設については、平成24年度に建設工事に着手し、平成26年度中の施設の完成・オープンを予定。市民体育館の代替施設については、調査費を計上し建設用地の取得を含め、体育館の基本的な仕様について検討。総合運動公園陸上競技場については、第2種公認の継続へむけたグラウンドの全面改修などが24年度の主な施設

整備であり、これらの早期完成を要望します。しかし、財源確保の市債の活用にあたっては、将来世代へ過度の負担をかけるよう、十分留意した対応を強く求めます。今後一層の行革に取り組み、市民が安全で安心した生活が営めるよう、私も会派も引き続き全力を尽くす所存です。

民主党議員団

- 山 木 綾 子
片 野 広 隆
山 根 史 子

平成24年度的一般会計予算は、昨年当初予算比で1.0%増の1千5億円を超える予算編成には、長引く経済不況の中、職員の皆様のご苦勞に、心より敬意を表したいと思います。

都市計画税の見直しにより、新河岸駅周辺整備や川越市駅等、都市基盤整備に、予算が割けたことや、長年の懸案であった、新斎場や地域振興ふ